

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

## 1. HAHT チームの活動の実施

### ■在宅訪問

土・日・祝日を基本にプレイワーカーと看護師がペアになり、月 1～3 回の訪問を行う。(ご家庭により、学生ボランティアの同伴あり) 2～3 時間の間、プレイセラピー・ミュージックセラピーを行い「こども時間」として、その子供の発育年齢・能力・興味・疾患の特徴の合わせた楽しい取り組みを行った。

### ■わくわくタイム (デイケア)

月 1 回、広いプレイスペースをお借りし、プレイワーカー・音楽療法士・看護師・ボランティアが、数組のご家族の皆さんを招待し季節を感じるイベントなどを行った。

#### 開催実績

関西国際大学のプレイスペースにて

- 「第 1 回わくわくタイム “仲良くなろう”」
- 「第 2 回わくわくタイム “アジサイ花づくり、父の日カードづくり等”」
- 「第 3 回 わくわくタイム” 夏祭り”」
- 「第 4 回 わくわくタイム” 運動会”」
- 「第 5 回 わくわくタイム” ハロウィン”」
- 「第 6 回わくわくタイム” アートの秋”」
- 「第 7 回 わくわくタイム” クリスマスパーティ”」
- 「第 8 回 わくわくタイム” 伝承あそび”」
- 「第 9 回 わくわくタイム” 春一番”」

### ■チルドレンズトラベルメイト

普段自宅にこもりがちなお家族に、外出のきっかけや友達作りの機会を提供。プチ旅行には、添乗員とヘルパーの資格を併せ持つスタッフが同行。地元の企業や慈善団体などの協力を得て、日ごろは経験できないような小旅行を行った。

#### 開催実績

- ・水陸両用カーにて観光 実施。
- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン様よりご招待頂き、実施。
- ・(社)奈良親子レスパイトハウスの全面ご協力のもと、奈良の東大寺にて実施。

### ■特別支援教育

平日 (週 5 回) 東淀川高校にて、子どもの病気や状態に合わせて、看護師・プレイワーカー等の専門知識を持ったスタッフが対象の子供が通う学校へ訪問し学習活動サポートや他余暇休暇のサポートも行った。講師を招き特別支援教育関係者セミナーを開催した。

#### 開催実績

・第2回特別支援教育関係者セミナー実施

12月4日（日）大阪市立総合医療センターのさくらホールにて

◎高等学校における病弱生徒への教育支援について

（東淀川高校教育支援チーム介護士／山田 裕子）

◎病院に入院中の高校生たちの想いと現状報告

（大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科 臨床心理士／松元 和子）

◎特別講演「こころの声言葉になる」

～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～

（昭和大学病院内さいかち学級／副島 賢和先生）

2. ビリーブチーム（遺族支援）の活動の実施

子どもを失った経験をもつボランティアが子どもを失った遺族を訪問や、電話でお話をお聞きしサポートを行った。  
又、月1回依頼者に適切なサポートを行うための研修を開催した。

3. 事務局管理（ファンドレイジングを含む）

事務局内でのファンドレイジング関連の経理作業、各チームの受付窓口として活動。スタッフ活動費や講演会費等、「こどものホスピスプロジェクト」のあらゆる活動を支えるための資金集めを行うため、ホームページやセミナーイベント等で、こどものホスピスプロジェクトをより多くの方に周知・啓発していただき同時に賛助会員や寄付を募った。

開催実績

・2011年9月「こどものホスピスプロジェクト」オリジナルデザインの夢の貯金箱（自販機）第1号設置。

・「こどものホスピスプロジェクト 第1回セミナー」開催

2011年8月21日（日）クレオ大阪中央にて 12:00～

1<緊急企画>東日本大震災の概要と、「その時のために」病気を持つ子ども達と家族へのメッセージ

◎「東日本大震災での概要、そして大災害時に必要とされる「支援金」の力

日本財団：長谷川隆治氏

◎「東日本大震災での重症児支援と、在宅にいる子どもと家族へのメッセージ

～いのちを大切にするとってどうということ～

宮城県拓桃医療療育センター：田中総一郎氏

◎パネルディスカッション

パネリスト：エッセイスト藤本統紀子氏／児童文学作家あんずゆき氏

メイク・ア・ウィッシュジャパン理事ティモシー・ボイル氏

株式会社ユー・エス・ジェイ春名陽子氏／キャスター小西美穂氏

大阪市立総合医療センター副院長原純一

大阪市立総合医療センター副部長多田羅

2ホスピスアットホームチーム（HAHT）と皆であつまる【わくわくタイム】

◎「英国こどものホスピスの在宅訪問について」

ホスピタルプレイスペシャリスト 山地理恵

◎「HAHTの立ち上げとわくわくタイム開始」

HAHT プレイワーカー 河本鈴代

◎「HAHTの活動：音楽療法が引き出すこどもの表現・今後の展望」

音楽療法士 重山直子

◎「HAHTを利用して」

利用者代表 ながたさほちゃんのお母さん（元 脳外の看護師）

3 遺族訪問活動チーム（ビリーブ）

◎「英国のビリーブメントサポート」

こどものホスピスプロジェクト理事 多田羅竜平

◎「ビリーブの立ち上げと活動報告・今後の展望」

こどものホスピスプロジェクト理事 坂下裕子

4 こどものホスピス活動を支える ファンドレイジング

◎「日本のファンドレイジング市場についての最近の動向

～日本にも1兆円規模の寄付市場があるのをご存じですか？～」

日本財団 長谷川隆治氏

◎「現在のわたしたちの活動状況と今後の目標」

こどものホスピスプロジェクト理事長 高場秀樹

・2011年12月「こどものホスピスプロジェクト」発足1周年を迎え、次年度もっと多くの方に周知されるよう、記念バナーの作成、カレンダーの作成。

#### 4. 公益法人への申請

本年（平成24年）夏の公益法人認可申請を目指して、必要な準備を開始した。

#### 5. メディア

- ・2011年11月12日（土）に開催されました、「第6回わくわくタイム」の様子が読売ファミリー（12/14号）に掲載。
- ・パドマ幼稚園で発行されている『わらべまんだら』「VOL497 2011 秋の号」には、サマースクールの様子や夏休みの絵本づくりコンクールについてなどを掲載。
- ・2012年2月14日の読売新聞（夕刊）に、遺族支援チーム「ビリーブ」の活動が掲載。
- ・読売 Life2月号に「わくわくタイムの様子」を掲載。
- ・「TOOTH FAIRY」のリーフレットに「わくわくタイムの様子」を掲載。

掲載内容や動画についてはfacebook ファンページ、ホームページに掲載しております。

facebook ファンページ URL : <https://www.facebook.com/childrenshospice.jp>

ホームページ URL : <http://www.childrenshospice.jp/>

以上